

潤いの森 8月

ムクゲ

アオイ科落葉低木 花期：8-9月



ムクゲは一日花で、咲き始めの方が花が色鮮やかに咲きます。日本では江戸時代から多くの品種が作られ、一重、八重、白や紫、水色などもあります。

サルスベリ

ミソハギ科落葉小高木
開花期：7-10月



サルスベリは「百日紅」と書くように、約3か月間花を咲かせ続けます。その後実を付けます。



アキカラマツ

キンボウゲ科多年草
花期：7-10月



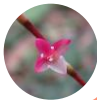
アキカラマツは薬草でもあり、タカトウグサとも呼ばれています。食べ過ぎ、食欲不振、腹痛、下痢などに昔は用いたそうです。

ミズヒキ

タデ科宿根草 花期：8-10月



ミズヒキは薄暗い場所に多いですが、縁起物とされ、花言葉も「慶事」や「寿」などがあります。



森で見られるセミ

森で見られるセミは全部で5種類です。

セミの一生寿命は栄養の状態や環境条件などで、かなりばらつきがあり、産卵された卵はその年に孵化するものでは30～60日、次の年に孵化するものでは240～330日の卵期間になります。幼虫は木の根っこの脇に小部屋（幼虫室）を作って、そこでエサとなる木の汁を吸って成長します。羽化するまでには1～5年程度と個体差があります。



アブラゼミ



ツクツクボウシ



ニイニイゼミ



ヒグラシ



ミンミンゼミ



カメムシ目セミ科

観察期：7-9月

ハグロトンボ

トンボ目カワトンボ科 観察期：7-8月

ハグロトンボは6、7月に羽化します。羽化後の若い個体は薄暗いところを好み、水域から離れて林の中で生活し、成熟すると再び水域に戻り、明るい水辺の石や植物などに止まりナワバリをつくります。近隣の東京都や神奈川県ではレッドデータブックに載っている希少なトンボです。

オス



メス



オスの胸は青みが強くメスは黒味強いのが特徴です